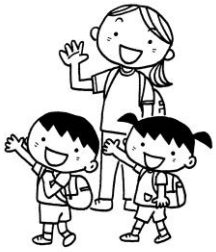
園だより



令和２年９月１日

社会福祉法人新田保育園
園長　野村　陽子

『仲間との体験』

園の行事に、『りす組合宿・ぞう組合宿』があります。ぞう組合宿は５月に５歳児が飯能で２泊、りす組合宿は７月に４歳児が保育園で１泊します。本来なら５月と７月に行なわれるのですが、今年は、新型コロナウイルス流行により延期、職員間で何度も話し合いを重ね、保護者の同意を得て９月に決行することとなりました。このような状況の中、同意していただき感謝申し上げます。

４歳児りす組は、食事のメニューを自分たちで決めます。７月 31 日から始めた話し合いは、８月 24 日まで続きました。A くん「みんなおなじものがすきならいいのに、でもちがうもんな」という言葉に、B ちゃん「みんなきもちがあるから」と言っていました。メニューが決まったと聞いてりす組に行くと、「やっときまってよかった」「なんでもよくなったから、みんなでいいよーってなったの」とのこと。意見を出し合って１つのことを決めるのは、とても大変だという体験もしたようです。

５歳児ぞう組は、山登りの順番を決めます。「1 番隊長をぜったいにやりたい」と立候補したのは普段１番にこだわりがない C ちゃん。珍しいことなので叶えてあげたいのですが、子どもたちの中には心配な事がありました。「たいちょうは、ちからがないといけないし、みんなにこえもかけなきゃいけない」「C ちゃん、きゅうしょくをいつもへらしてるけどだいじょうぶかな」。その意見を聞いた C ちゃんは「やさいたべる。へらさない」と断言。その日から一度も減らさず完食しています。C ちゃん「みんなにいわれて、そうだとおもった。だからたべてる。それはじぶんできめたの」とたくましい表情です。仲間の中で自己決定したことは、大人の関わりを超えるすごい力を持っています。子どもたちといると、このような光景にたくさん出会います。ぞう組合宿、りす組合宿で、子どもたちはどんな体験を味わうのでしょうか。楽しみです。

りす・ぞう組合宿共に、感染防止を考え活動や進め方に変更もあります。状況によっては急遽、合宿を中止するかもしれません。しかし、子ども達は取り組みの中で、今までと変わらず心が動かされる体験をしています。私たちはこの状況でも、子どもの育ちにとって必要な体験は、工夫と知恵を出し合い新たな方法で保障したいと思っています。今後も保護者の皆さんと共に考えていきたいです。

（文責　濱本　昌子）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
9月	総合避難訓練	ぞう組合宿	→	→	→			健康体育			りす組合宿	→			運動会集会	健診（０・１）		誕生会（写真撮影）					運動会集会		ダンスの日・保護者の会運営会議				運動会集会	